

## 第2回 人口減少対策検討懇談会の結果について

### 1 開催日時

【自然増部会】平成27年7月30日（木） 午後1時30分～午後3時30分

【社会増部会】平成27年7月29日（水） 午後1時30分～午後3時30分

### 2 議事

- (1) 第1回人口減少対策検討懇談会の結果について
- (2) 市民アンケートについて
- (3) 「宇都宮市人口ビジョン」の骨子（案）について
- (4) 「宇都宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の構成について

### 3 主な意見

#### 【自然増部会】

- ・ 結婚・子育てについては、アンケート結果を踏まえながら年代や仕事環境による違いや、地域の課題などに対応したきめ細かい戦略づくりが必要である。
- ・ 2人目、3人目の出産・子育てが優遇される工夫が必要である。
- ・ 出産後、社会復帰しやすい環境の整備が必要である。
- ・ 出産・子育てで、これまでの職歴が途切れてしまうことを恐れる傾向があるのではないかと。子育て中の労働時間の短縮や、成果制の導入など働き方の工夫が必要ではないかと。
- ・ 大学の授業等においても、異性とのコミュニケーションの取り方など将来の結婚につながる施策を行っていく必要がある。
- ・ 宇都宮に来てもらう人を増やすためには、本市の良さについて市民がもっと対外的にアピールを行っていく必要があるのではないかと。

#### 【社会増部会】

- ・ 流入人口の増加と併せて、流出人口をどう抑えていくかという観点でも、考え方や手法の検討が必要である。
- ・ 公共交通ネットワークの形が具体的に見えてくると、それに合わせて各地域の住みやすい場所などが明確になってくるのではないかと。
- ・ 中心市街地の活性化などに影響を与えやすく、生産性の低いサービス産業については、人口減少での需要減少に伴う影響を考える必要がある。
- ・ 企業誘致は人口対策が一挙に進むという点で魅力的であるが、経済環境の影響などが大きく市の取組としてはやや焦点がずれてしまう印象があり、中小企業の経営の継承や創業支援など、市の裁量で政策化できるものも長期的な視点で検討していく必要がある。
- ・ 中小企業の課題として人材の確保があり、人材育成やマッチングの取組、また、大学と企業が連携して、インターンシップ制度を充実させることも必要である。